**平成28年度　大刀洗町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会**

**議事まとめ**

日　時：平成28年12月27日 10時～12時

会　場：役場3階　大会議室

参加者：別紙のとおり

～ 次第 ～

１．町長挨拶

２．委員紹介

３．会長・副会長選出

　　　【会　長】 田村 馨

【副会長】 光安　幸蔵

４．議題

「大刀洗“よかマチ”創生プロジェクト」

進捗状況と今後の取り組みについて

　5つの基本目標ごとに、ご意見をいただきました。

　以下、主なご意見を抜粋して記録しております。

**■基本目標①**

委　員

転出理由の把握はできているか。

事務局

転出入者に対し、窓口アンケートを実施しています。

転出理由としては仕事、家庭の都合が多い状況です。

委　員

転入者の特長は？

　事務局

　　隣接する自治体からの転入が多い状況です。

転入理由は家庭の都合で特に結婚が多い状況です。

　委　員

転出入の実績は28年4月~11月までとなっているが、転出入が特に多い

のは3月ではないかと考える。

グラフ等で傾向が分かるようにして随時情報提供いただけるといいのでは。

事務局

委員さんのご指摘のとおり、3月と4月が特に多いです。

今は、現段階での数値しかお示しできませんが、実績には最新の数値を反

映していきたいと考えております。

委　員

大刀洗町への移住を促進するためのPR動画の視聴数がよくないようだが、

動画を見ると、心がほっこりするようなよい動画だと思う。

もっと皆さんにも見ていただきたい。

事務局

全国移住ナビのＨＰに掲載しているのと、役場正面玄関入ってすぐの画面

で毎日流しています。

もっと、金融機関と連携して、金融機関のフロアで上映していただいたり

もしていますが、たくさんの方に見ていただける工夫をしていきます。

　委　員

動画を見たかどうかのアンケートなどをとってみては。

　事務局

転出入アンケートでとっています。実際に見たと回答した方は、3人程度

で、少ないです。

　委　員

定住促進住宅について、町内の企業（工場）にも情報を流して、町外から

町に働きに来ている人へどんどんＰＲしたほうが良い。

事務局

2棟目が建設されれば、また入居者募集をかけますので、具体的なスケジ

ュールが出たら、ぜひ情報としてお知らせしていきたい。

委　員

移住定住相談窓口の情報を転入時にお知らせしているとのことだが、転入

してからでは遅いと感じる。外向けの発信を考えてもいいのではないか。

相談窓口の利用者はどうか。

事務局

窓口に来る方もいれば、電話で相談をしてくださる方もいます。件数は、5件です。

知りたがっている情報も様々で、「子育て環境について」や「町の災害対策」

などが多いです。

対応は一定できていますが、ご指摘のように外向けの発信についても考え

ていきたいと思います。

　委　員

広域アンテナショップの場所はどのあたりか？

　事務局

東京の新橋駅から徒歩1分のところです。

現在、運営事業者選定の手続きを行っています。決定しましたら、内外装

工事施工事業者についても公募を行います。

平成29年7月中旬にオープン予定です。

　委　員

空き家調査については、これまで区長に調査依頼がきていたが、今回は委

託形式で実施している。今後、区長による調査はやるのか。

また、空き家については売る・貸す・壊す等があると思うが町の支援はあ

るのか？

事務局

今後の、空き家把握の手法については検討中です。

空き家の活用については、町が斡旋というのは難しいので、町内の不動産

業者等と連携していくなど検討が必要です。

　現段階では、取り壊しなどの費用支援は実施しておりません。

**■基本目標②**

委　員

「こんにちはお母さん事業」の利用者19名になっているが、その期間で何人産まれたうちの何人が利用したのか。

　事務局

19名は延べ人数です。実人数は10人、9月～10月で約30名産まれて

います。

委　員

お母さん事業は自分から利用したいと申し出があったのか、それとも役場

から声かけしたのか。

　　過去の母子保健事業では解決できなかったケースか。

事務局

出産時訪問事業で気になる家庭については、支援を活用して施設が利用で

きることを伝えています。

施設利用については、宿泊が27,000円→7,000円、日帰りでも10,000

円→3,000円程度で利用できるため、利用するにあたってのハードルが下が

っていると考えています。

　委　員

「こんにちは赤ちゃん事業」について、事業の利用者が少ないが、対応方

法など現時点で考えられているものはあるか。

近隣が支援していない状況で、大刀洗町だけが支援をしているのであれば、

外向けにＰＲすることで、移住のきっかけになることもあると思う。

事務局

現在の要綱では、「町に居住して1年以上」という要件があり、この要件

を満たさないため申請できないというケースも出てきます。この点について

は、見直す（要件を外す）ことを検討しています。

　　まだ、支援を始めたばかりなので、周知は十分とはいえません。ＰＲは、

　しっかりとやっていきたいと考えています。

委　員

婚活について、自分の集落は40軒ほどあるが、小学生は1人である。

一方で、40歳前後の独身の方が結構いる。町独自の婚活の支援をぜひや

って欲しい。自分たちも手伝えることがあれば協力する。

委　員

自分の周りには、3人、4人とか子どもがいる人は割りといる。

ママ友たちと話していると、独身男性が多いという話になる。出会いを

考えるきっかけづくりが必要では。

　委　員

この基本目標②では、出会い⇒結婚⇒出産⇒子育てとつながっている。

子育て相談等が多いのであればそこに注力してやっていくといいと思う

が、これだけ独身が多ければ町でもっと支援をやってもいいかもしれない。

小さい町であるが、年が3つ4つ離れると全く知らなかったりする。

そういう方たちを繋ぐ、出会いのきっかけをつくっていただければ。

委　員

「婚活イベント」という冠がつくと行きたくない。自然に出会いが生ま

れるような場にできるといい。

参加者同士で何かを作るなど、アクティビティとセットにするとよい。

　事務局

　　協力的なご意見をいただきありがとうございます。皆様にご協力をいただ

ける部分はお願いします。委員のご意見により、支援のニーズはありそうな

ので、町としてなんらかの形で支援していけたらと考えています。

婚活イベントを実施するとしても、行政が呼びかけても参加者が少ないと

いうケースが多いので、その時は、皆様のお知り合いにも声かけをお願いし

ます。

委　員

いろいろなイベントを実施するにしても、情報を発信するには、インター

ネットで検索してヒットできるようにしないと、なかなか情報は届かない。

専門のサイトの構築を考えるべきかも。サイト構築は専門家に頼まないと

いけないかもしれないが。

**■基本目標③**

委　員

創業支援については、3商工会（久留米東部・小郡・大刀洗）合同セミナ

ーを開催13名参加のうち、大刀洗からは1名。

また、11月から12月にかけて創業支援塾を開催（5回シリーズ）。15名

参加のうち、大刀洗からは3名。商工会・町・金融機関の連携を進めていき

たい。

委　員

創業支援という言葉はついていないが、図書館の横のスペースで開催して

いる、ドリームカフェ営業も立派な創業ではないか。冠がついていなくても、

趣旨的につながっている事業については、どんどん関連づけていけたらいい

と思う。

委　員

事業実施をした結果、雇用増につながったのかどうか、現状の数値を把握

していくことが大切。

分析となるとかなり大変になるので、できる限りで把握していくこと。

　事務局

　　国の地方創生の取り組みとして、「稼ぐ力」の創出が強く求められていま

す。本町では、企業訪問などをとおして、町内企業が抱えている課題などを

聞かせていただきましたが、どの事業所も生産年齢人口の減少に伴う「人材

の確保」が課題となっているようでした。

　新しい起業も支援していきますが、既存事業所の支援についても、いろい

ろと検討していきたいと考えております。

**■基本目標④**

委　員

西鉄は、太宰府市、柳川市とコラボした車両や企画きっぷ販売をしている。

大刀洗町には今村天主堂があり、今から名所を作り上げるという意味で、

ワンデーきっぷ、特殊車両等の企画をつくっていくということはできないか。西鉄の車両は入れ替わってきていて、現在の西鉄甘木線の車両は少なくなってきている。電車好きな人へのＰＲにもなるのではないか。

事務局

「あまぎぐるりんフリーきっぷ」という形で、西鉄甘木線と甘木鉄道と協

力して企画キップを販売していたりするが、これもＰＲ不足で利用者は少な

いようです。鉄道の利用者も減ってきているので、鉄道会社とも連携して、啓発していきたいと考えています。

　※ 他にも、西鉄甘木線では「蔵の細道きっぷという企画きっぷ」があり、

　　 本町では「みいの寿」がこの企画に参加している。

　委　員

高齢ドライバーの事故が増えていて、免許証の自主返納が進んでくるだろ

う。そうなると高齢者の足の確保が必要になる。

委　員

高齢者の足・地域の足の確保となると、自治会バスが有効に思う。

ボランティアの確保を地域の中からとなると難しい面があるので、地域外

からも幅広に募集するのがいい。

　委　員

　　久留米のよりみちバスは、Aコープで折り返しだが、乗っている人は非常

に少ない。町がやるとしても二の舞にならないようにしてもらいたい。

委　員

利用者が使いやすい形態ということを考えると、広いエリアを走らせると、

時間がかかったりする。集落内ということにすると、時間があまりかからない。ニーズ、エリアは小さく。ただし、エリア内からの担い手確保は難しいので担い手は広くするのがいい。ボランティアの運転手に、謝礼金という形をとっているパターンが多い。また、ボランティアにお願いするのであれば、安全面での不安を取り除くことが重要になる。

委　員

大刀洗校区での試行の際に、何度か運転した。利用者はニコニコしながら乗ってこられる。前向きに検討してはどうか。

委　員

過疎地（棚田の観光地）の取組みとして、集落から市街地へ住民を乗せ、

市街地から観光客を乗せて戻るなどの工夫もされているようだ。過疎地の活

性化につながる取組みだと思う。

　委　員

公共空間活性化については、利用者が少ないようだが。

　事務局

事業のネーミングに問題があるかもしれません。相談は数件受けています

（映画上映、アロマテラピー等）。まずは事例を一つ作って、それをモデルと

してＰＲしていきたいと考えております。

委　員

基本目標のＫＰＩになっている、町に住みたいと思う人の割合の推移は？

　　※ 町に住み続けたいと思う割合＝①＋②

　　　　①ずっと住み続けたいと強く思っている。

　　　　②できればすみ続けたい。

事務局

これは、アンケート調査を実施させていただいております。

平成27年度は、68％でありましたが、平成28年度は、73％に上昇して

おります。

特に、ずっと住みたいと強く思っている方の割合が増加しているので嬉し

いです。（平成27年度 28％ ⇒ 平成28年度 35％）

委　員

交通施策については、従来のやり方と変わってきている。専門家が必要。

専門家の中にも、食とインバウンドを絡めた取組みや、不動産とタクシー

を組みあわせた取組みなど、面白い取組みをやっている企業もある。

大刀洗町のニーズにあった、町が必要とする専門家と組むことが大切だ。

**■基本目標⑤**

委　員

応援大使の年代や、なった理由とかの把握はしているか。

　事務局

申請時に、町とのつながりなど情報を記入してもらっています。

年齢は様々です。

20代の方

「就職して、町には住んでいないが自分も故郷のために力になりたい。」

60代の方

「退職をして、自分の時間が出来たので、町のために何か力になりたい。」

など、事業の趣旨に賛同してくださった方々にご協力をいただいております。

　委　員

事業を単体で捉えるのではなく、それぞれの事業で、つながりをうんでい

ければいいのでは。つながりを持たせることで、水面下でやりたいと思って

いる事業などが浮かび上がってくるかもしれない。

例えば、「同窓会推進事業」で集まった方たちに「たちあらい応援大使」のＰＲをする。つながるきっかけを作る事業を展開していって欲しい。

　委　員

行政だけの発信力では限界がある。他人に言ってもらう。その意味ではソ

ーシャルネットワークをもっと活用してほしい。

委　員

成人式の場なども活用して、応援大使や同窓会事業について話してもらう

のがいい。

委　員

少ない職員数の中、これだけの数の新規事業をやれたのはすごいと思う。

スクラップ&ビルドも今後大事になる。その際、数値だけを追いかけるの

ではなく、主たる目的が何なのかという視点で整理することが重要になる。

移住定住相談窓口のように、お金がかかっていなくても必要な事業であっ

たり、定住促進住宅のように費用がかかるものもある。費用対効果も考える

必要がある。